



## 『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】 船橋市飯山満町1-836-5 ☎420-6511 FAX 424-8712  
 ホームページ <http://www5e.biglobe.ne.jp/~hiroei/>  
 Eメール [hiroei@muc.biglobe.ne.jp](mailto:hiroei@muc.biglobe.ne.jp)

### 無い時の辛抱(しんぼう) 有る時の儉約(けんやく) 因果応報(いんがうほう)

【無い時の辛抱有る時の儉約】・金が無い時は不自由を辛抱して、ある時も浪費せず儉約を心掛けるのがよい、ということ。

【因果応報】・人の考えや行いの善悪に応じて相応の報いがある、ということ。  
 ・「因果」は、原因と結果。



眠っていた大地と樹木に緑が戻り、色鮮やかな花が咲き始めました。3月の声を聞くと心がうきうきしてきます。

私たちは3月議会の真っ只中です。新年度の予算を審議する大切な議会です。この報告は4月からさせて戴きますが、今回は12月議会での質問のパート2です。

船橋市は昨年(平成15年)の11月15日の広報「ふなばし」で、厳しい財政状況を改善し、市民のニーズに即したサービスを継続して提供していけるよう、平成16年度から19年度を実施期間とする「財政健全化プラン」を策定したと発表しました。総論は賛成ですが、各論に検討の余地があるのでないかと思われることについて質問しました。

#### ①市立学校敷地内駐車を有料化することについて

本件は、自家用車で通勤してきて、学校に駐車する教職員から駐車料金を徴収しようというものです。

私は、学校敷地内で有料化されると、個人的に保管場所としての権利が発生して、暗黙の了解ができあがってしまい、教職員同士や来客者、保護者とのトラブルが危惧される。また、有料化に伴いバスや電車通勤にした場合、特に交通不便地域の学校では、バス時間や電車の時間に合わせた行動となり、部活動や教材の持ち込みにも不便をきたしてしまう。行動範囲が狭くなると目もいき届かなくなってしまう。



なによりも大切なことは、先生方に余分な精神的な負担をかけないで、子供達の教育に専念してもらうことが肝要ではないか、再考してはどうか、と市の見解を伺いました。

「市議会だより 第172号」にも載っていますが、市から「実施に向けて検討を始めたばかりである。全市的な問題であり、有料化に伴う弊害も考えられるので関係機関と協議していきたい」と、いい意味で一步後退した回答を得ました。

『無い時の辛抱有る時の儉約』の精神は行政にも重要なことです。

## ②母子等家庭児童養育保育手当について

本件は、母子等家庭に支給されていた手当の対象者を、母子等家庭となってしまった要因を「死別」に限定することにしたものです。

要因には「離婚」もあります。この「離婚」の場合を対象外としようというものです。

私は、現実はどちらも「母子等家庭」であり、子供を養育することに差はない。子供には何の罪もない。悲しい、辛い思いを少しでも軽減してもらえないか、その原因で差別することは止めて欲しい。その理由と削減効果がどのくらいあるのか、質問しました。

市は、「全ての母子等家庭は国の法律で保障されていて、保育手当が支給されている。船橋市はそれにプラスして支給してきた。原因が離婚の方について、その分をカットするものである。それにより年間で約3億円の経費節減効果がある。ご理解を賜りたい」と回答しました。



負けちゃだめよ

一部では、この保育手当を受けるために、協議離婚を装い申請している者もいると聞いています。必ず『因果応報』があると信じます。とは言え、そんな悪者追放のために、やむを得ず離婚となり、一生懸命に働き子供の養育に汗している方が苦しんではいけません。温かな思いやりが必要ではないでしょうか。

市の方針にクレームをつけたり反対することは簡単ですが、それで終わっては何も進歩しません。代替案やより良い制度やシステムを考案して市政に反映していきたいと思っていますので、ご意見・ご提言をお寄せください。

オ、電車の時間だ

